



◆ 新しい Chromebook について

新年度に入り、すべての小学校で児童用端末の更新が行われたかと思えます。端末自体の性能も向上し、使い勝手もより良くなりました。コンピューターのパーツの中でも特に消耗してしまう「バッテリー」が新しくなったことは授業や課外活動においても非常に大きなメリットだと思います。

以下に新しい Chromebook についての情報をまとめます。ぜひ参考にいただければ幸いです。

型番	Lenovo 500e Chromebook Gen 4s
画面サイズ	11.6インチ
CPU	Intel N100
メインメモリ	4GB
インターフェース	USB (3.2 Gen 1) Type-A × 1 HDMIコネクタ USB Type-C × 2 コンボ・オーディオ・ジャック など

◇ CPU について

CPUはパソコンの頭脳と例えられる重要なパーツです。Intel N100 は省電力でありながら高い性能を発揮する優れたCPUとして一般的にも人気があります。複数のアプリケーションを開き、様々なコンテンツを利用する授業においても困ることはないでしょう。

◇ インターフェースについて

インターフェースとはパソコンと外部の機器をつなぐための機器（規格）のことを指します。新しい Chromebook には HDMI端子が付いていますので、教職員が使用するPCと同じようにHDMIケーブルのみで大型モニターを活用できるようになります。Chromeキャスト（無線接続）も引き続き使用できますので、状況に応じて使い分けてください。

◇ 画面タッチ

新しい Chromebook でも引き続き画面タッチによる操作が可能です。本体左側面に赤い小さなタッチペンが付属しています。取り出す際に爪など傷つけないよう気をつけてください。

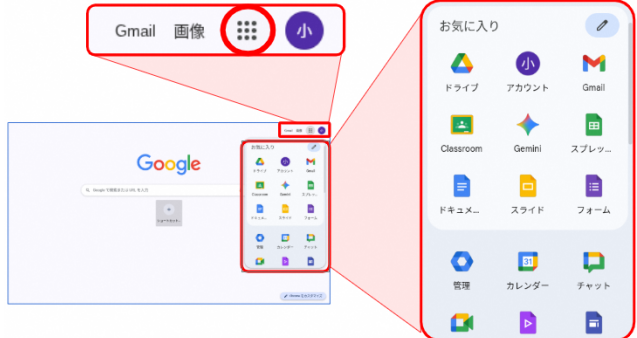
指のタッチとタッチペンのタッチに加えて、鉛筆でも画面タッチによる操作が可能となっています。画面のガラスも非常に丈夫なものが使用されていますので、ぜひ積極的に鉛筆による画面操作をご活用ください。



◆ 2026年度のGoogleツールのご紹介

普段から校務や授業で活用しているGoogleツールは **Google Workspace for Education** といい、クラウドベースの教育ソリューションの総称です。「どこからアクセスするんだっけ?」という基本のおさらいから、GeminiとNotebookLMの連携機能など2026年度のGoogleツールポイントを改めてご紹介します。

◇ アクセスについて

1		<p>ブラウザ（Chrome）の右上にある「9つの点（ワッフルアイコン）」を押すと、主要なアプリがすぐ開けます。</p> <p>アイコンはドラッグして好きな順に並べ替えができるので、よく使う順に整理しておくことで少しだけ作業がスムーズになります。</p>
---	---	---

◇ 主要アプリケーション

1	Googleドライブ	7	Googleサイト
2	Classroom	8	Googleカレンダー
3	Googleドキュメント	9	Google Meet
4	Googleスプレッドシート	10	Google Chat
5	Googleスライド	11	Google Gemini
6	Googleフォーム	12	NotebookLM


◇◇ クラウド型ツール

Google Workspaceの利点は、一つのアカウントで、クラウド上の同じ資料を編集したり、共有したりできることです。児童生徒の協働学習や先生の校務を、以下のような機能が支えています。

統合	主要アプリケーションは全て一つのアカウントで利用できます。
自動保存	編集内容がリアルタイムでクラウド上に保存され、常に最新の状態が維持されます。
共有	URLやメールアドレスを使用して、特定ユーザーまたはリンクを知る全員にファイルを公開できます。

◇◇ GeminiとNotebookLMの連携

Geminiのチャット画面上で**NotebookLMの資料**（PDF、Word ファイル、Google ドキュメント、YouTube 動画のURL）を直接参照し、精度の高い回答を得ることが可能になりました。

1		<p>Gemini のチャット画面で、テキスト入力欄にある「+」ボタンから「NotebookLM」を選択します。</p>
2		<p>参照したいノートブックを選択すると、そのノートブックの内容を踏まえた回答が得られるようになりました。また、複数のノートブックを同時に選択することも可能です。</p>